

(広報資料)

平成30年4月13日



京都市環境政策局
担当 環境企画部環境管理課
電話 222-3951

「平成30年度第1回・第2回親子生きもの探偵団」の参加者を募集します！

京都市では、生物多様性保全の必要性を理解し、行動していただくための環境教育・普及啓発の一環として、専門の講師をお招きし、親子を対象にした自然観察会「親子生きもの探偵団」を平成26年度から開催しており、平成30年度は計6回の開催を予定しています。

この度、平成30年度第1回・第2回親子生きもの探偵団を以下のとおり開催しますので、お知らせします。是非御参加ください。

1 内容（別添チラシ参照）

(1) 第1回親子生きもの探偵団

～世界文化遺産を流れる、百人一首にも詠まれた「ならの小川」で生きもの調査をしよう！～

ア 日時

平成30年6月2日（土）午前9時～午前11時30分

※ 荒天の場合は、6月3日（日）に延期します。

イ 場所

上賀茂神社

（京都市北区上賀茂本山339）

ウ 講師

乾 光孝 氏（賀茂別雷神社）

高瀬川 薫子 氏（一般社団法人葵プロジェクト）

NPO法人ビオトープネットワーク京都

河合 典彦 氏（環境省希少野生動植物種保存推進員）

エ 対象及び定員

京都市内に在住又は通学している小学生とその保護者（親子20組（40名））

オ 参加費

無料



みんなで川に入って
生きものを探そう！



(2) 第2回親子生きもの探偵団
～田んぼの多様な生きものを観察しよう！～

ア 日時

平成30年6月23日（土）午前9時～午後3時
※ 荒天の場合は、6月24日（日）に延期します。

イ 場所

大原（京都市左京区大原）

当日は、地下鉄烏丸線「国際会館」駅から会場までの送迎バスを用意しています。
詳しくは、応募期間終了後、参加決定者に御連絡します。

ウ 講師

板倉 豊 氏（京都精華大学 教授）
西台 律子 氏（京都自然観察学習会 講師）
藤野 適宏 氏（大原のオオムラサキを守る会）

エ 対象及び定員

京都市内に在住又は通学している小学生とその保護者（親子20組（40名））

オ 参加費

無料



国蝶のオオムラサキも
見学できるよ！



2 応募

(1) 応募方法

次のア～エの必要事項を明記し、FAX、メール、環境管理課ホームページ、又は電話でお申し込みください。

※ 電話の受付時間は平日の午前8時45分～午後5時30分です。

- ア 参加者（お子様）の氏名・学年
- イ 同伴する保護者の氏名
- ウ 住所・電話番号・FAX番号
- エ 希望の回（複数可）

(2) 応募期間（いずれも、応募者多数の場合は、抽選となります。）

ア 第1回親子生きもの探偵団

平成30年5月1日（火）～5月15日（火）

イ 第2回親子生きもの探偵団

平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

(3) 問合せ・申込先

京都市環境政策局環境企画部環境管理課

TEL 075-222-3951 FAX 075-213-0922

Eメール k-kyosei@city.kyoto.lg.jp

HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000232722.html>

※ 内容等につきましては、別添チラシを各区役所・支所等に配架するほか、ポスターの掲示、京都市情報館等にも掲載しますので、御参照ください。

(4) お申込みに際して

親子生きもの探偵団は、自然をフィールドとした観察会のため、お子様の監督及び安全確保を同伴される保護者の皆様をお願いしております。このため、お申込みは原則として【お子様1名に対して保護者1名以上】としております。

なお、保護者1名でも、複数のお子様の監督及び安全確保に責任を持っていただける場合のみ【お子様複数名に対して保護者1名】でもお申込みは可能です。

また、イベント開催中に発生したけがや事故の対応については、本市が加入するレクリエーション保険の範囲内とします。

以上のことを御了解いただいたうえで、お申し込みください。

(参考) これまでの取組

京都市では、京都ならではの自然環境や伝統文化を後世に受け継いでいくため、目指すべき生物多様性保全の方向性を示す「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」を平成26年3月に策定しました。本プランに基づき、生物多様性保全の必要性を理解し、行動していただくための環境教育・普及啓発の取組を進めています。



「親子生きもの探偵団」は、平成26年度からこれまでに、計21回開催しています。

京都市では、**生物多様性保全**の取組を進めています！


詳しくは、**京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～**をご覧ください。

→わたしたちの生活は、**生物多様性の恵み**に支えられていることを御存知ですか？

→**生物多様性の恵み**である京都市の資源を活用した生活や経済活動を行いましょう！



動物にいいことしていますか？



まち全体を
学びと育ちの場に